

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
福祉心理学基盤演習IV		必修	2	2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
高田 毅 他	B301	t.takada	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p><目的>これまでの基盤演習を基礎として、自己と社会のマッチングを探究し、キャリアを明瞭にすることを目的とする。自己と社会のマッチングを深めること、キャリアプランを踏まえた3年次以降のゼミ選択が目標である。</p> <p><概要>企業・業界研究やインタビューなどを通して、社会の理解を深める。前期での自己理解を踏まえて、自らのキャリアのマッチングを進めていく。その成果をプレゼンテーションで表現することで他者からのコメントを受ける。こうした流れを経て、キャリアのマッチングを確かにしていく。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	発言を求めながら進めるので、積極的に参与すること。 演習中の質問・疑問・関心・感想はその都度発言し、授業内で消化すること。 体験は人それぞれなので、自分の固有の体験に正直になり、学びにすることが重要である。				
教科書	必要に応じてプリントを配布する。				
参考書	随時紹介する。				
外部教材	なし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	自己と社会のマッチングを踏まえたキャリアについて説明することができる。			HC(6)	
②	キャリアに関する課題を見つけ、目標を立て、改善することができる。			HC(4)、HC(5)	
③	自己と社会のマッチングを踏まえたキャリアをプレゼンテーションできる。			HC(6)	
④	3年次以降の自己の課題を明確にし、それを踏まえたキャリアの方針を言語化できる。			HC(6)	
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーションを行う。基盤演習 IV の全体像を理解する。	講義・演習	シラバス・配付資料を熟読し、受講の意志を固める。	2	
2	職業カウンセリングにおけるマッチングについて学び、自己課題を整理する。	講義・演習	必要な調査を行い、情報を整理・統合して発表準備を行う。	4	
3	身近な人にキャリアに関するインタビューを行う。	講義・演習	必要な調査を行い、情報を整理・統合して発表準備を行う。	4	
4	企業・業界研究の方法について学ぶ。	講義・演習	必要な調査を行い、情報を整理・統合して発表準備を行う。	4	
5	性格特性との仕事のマッチングについて学ぶ。	講義・演習	必要な調査を行い、情報を整理・統合して発表準備を行う。	4	
6	企業・業界研究についての発表準備を行う。	講義・演習	必要な調査を行い、情報を整理・統合して発表準備を行う。	4	
7	企業・業界研究について成果発表を行う①。	プレゼンテーション	評価を受けて発表を振り返る。	4	
8	企業・業界研究について成果発表を行う②。	プレゼンテーション	評価を受けて発表を振り返る。	4	
9	自分のキャリアを踏まえて、3年生以降のゼミを検討する①。	講義・演習	必要な調査を行い、情報を整理・統合して発表準備を行う。	4	
10	自分のキャリアを踏まえて、3年生以降のゼミを検討する②。	講義・演習	必要な調査を行い、情報を整理・統合して発表準備を行う。	4	
11	今後のキャリアについての発表の準備を行う。	講義・演習	必要な調査を行い、情報を整理・統合して発表準備を行う。	4	
12	今後のキャリアについての発表を行う①。	プレゼンテーション	評価を受けて発表を振り返る。	4	
13	今後のキャリアについての発表を行う②。	プレゼンテーション	評価を受けて発表を振り返る。	4	
14	3年生の合同ゼミを見学して自己課題を検討する。	講義・演習	レポート作成準備を行う。	4	
15	まとめとゼミ志望レポートの作成について学ぶ。	講義・演習	1年間の成果を踏まえてゼミ志望レポートをまとめる。	6	
試	レポート試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	10	40	0	50	
総合力指標	知識・技術力	0	1	0	0	5	6
	思考・推論・創造する力	0	1	5	0	5	11
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	10	10
	発表・表現伝達する力	0	1	10	0	5	16
	コミュニケーション力	0	1	10	0	10	21
	取組みの姿勢・意欲	0	1	5	0	10	16
	問題を発見・解決する力	0	5	10	0	5	20
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①		1年間のゼミの内容を踏まえて3年次ゼミ志望のレポート課題を作成する。10点の配点とする。作成ガイドラインに沿ってまとめる。				
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	1年間のゼミの内容を踏まえて3年次ゼミ志望のレポート課題を作成する。10点の配点とする。作成ガイドラインに沿ってまとめる。				コメントを付して返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	発表の内容・構成及び聞き手を意識した伝え方等のプレゼンテーション、質疑応答時の対応等を評価する。また、他者評価も行い、配点に含める。第7、8回の中間発表会20点、第13、14回の最終発表会20点とする。				演習中に総評を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	演習への取り組み（練習、グループワーク等）を総合的に判断する。				演習中に総評を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	前川真奈美						
教員の実務経験	高田 毅：臨床心理士として18年、公認心理師として7年の臨床経験を有する。 前川真奈美：公認心理師資格を有し、2年の心理査定業務の経験がある。						
実践的授業の内容	臨床心理学的知見を応用し、各学生の自己の分析の方法論として応用する。また、心理学実験の枠組みも活用し、課題の設定からデータの検証、考察までの分析の方法論に応用する。						
そ の 他	本演習で単位取得できない場合、原則、3年次に進級はできない。学科の基幹教育としての演習であるため、特段の事情がない限り、全出席すること。 生成AI（ChatGPT等）を使用した課題作成は認めない。発見した場合は、評価を減じる。 教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は対面授業の参加を認めない。						